



## 平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年12月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 浅川 正則 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月28日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第2四半期の業績（平成27年5月16日～平成27年11月15日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	9,648	6.3	423	△4.3	449	△3.3	273	1.0
27年5月期第2四半期	9,079	3.2	442	5.7	464	6.5	271	12.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	94.81	—
27年5月期第2四半期	93.39	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第2四半期	8,621	5,363	62.2	1,966.03
27年5月期	9,342	5,914	63.3	2,037.04

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 5,363百万円 27年5月期 5,914百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
28年5月期	—	0.00			
28年5月期（予想）			—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年5月期の業績予想（平成27年5月16日～平成28年5月15日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,450	7.1	1,115	0.2	1,157	0.8	672	4.9	231.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年5月期2Q	2,903,600株	27年5月期	2,903,600株
28年5月期2Q	175,356株	27年5月期	326株
28年5月期2Q	2,887,083株	27年5月期2Q	2,903,274株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、政府・日銀による経済政策や金融政策により、企業収益や所得環境の改善がみられ穏やかな回復基調がみられた反面、中国等のアジア圏の経済減速があり、依然として先行き不透明な状況でもあります。

外食業界におきましては、コンビニエンスストア、宅配等他業種との顧客獲得競争、労働需要の逼迫に伴う人件費の上昇及び人材確保が課題になる等、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きの来ない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間において、杉並宮前店（平成27年6月）、武蔵小杉店（平成27年7月）及び松戸岩瀬店（平成27年8月）を新規に出店した結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は90店舗となっております。

販売促進につきましては、銚子丸らしい高品質かつ時節の旬の食材によるイベントの継続的開催を実施し、特に当社の主力商品である鮪におきましては魚体250kg以上の「プレミアム本鮪」や「生ボストン産鮪」を使用したセットメニューを充実させるなどお客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は96億48百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は4億23百万円（同4.3%減）、経常利益4億49百万円（同3.3%減）、四半期純利益は2億73百万円（同1.0%増）となりました。

（注）金額に消費税等は含まれておりません。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ7億20百万円減少し、86億21百万円（前事業年度末比7.7%減）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ8億31百万円減少し、54億67百万円（同13.2%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少9億24百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億11百万円増加し、31億54百万円（同3.6%増）となりました。これは、店舗増加及び既存店の改装による店舗設備の増加によるものです。

##### （負債・純資産）

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億70百万円減少し、32億57百万円（前事業年度末比5.0%減）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億62百万円減少し、26億58百万円（同5.8%減）となりました。主な内訳は、賞与引当金の増加70百万円、短期借入金の増加1億20百万円、未払金の減少2億46百万円、未払法人税等の減少73百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ7百万円減少し、5億99百万円（同1.2%減）となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ5億50百万円減少し、53億63百万円（同9.3%減）となりました。主な内訳は、自己株式の取得7億45百万円、当第2四半期累計期間の四半期純利益2億73百万円及び第38期期末配当金の支払78百万円であります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して9億24百万円減少し、43億76百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は85百万円（前年同期は4億39百万円の獲得）となりました。これは主に税引前四半期純利益4億48百万円、減価償却費1億35百万円による資金の獲得及び、未払消費税等の減少額1億38百万円、法人税等の支払額2億31百万円による資金の使用によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億85百万円（前年同期は1億2百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2億44百万円による資金の使用によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億25百万円(前年同期は57百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純増加1億20百万円による資金の獲得及び自己株式の取得による支出7億45百万円ならびに配当金の支払額79百万円による資金の使用によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高204億50百万円、営業利益11億15百万円、経常利益11億57百万円、当期純利益6億72百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き関東エリア(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)を重点にドミナント出店を軸として店舗数拡大を推進してまいります。第39期(平成27年5月16日から平成28年5月15日まで)の新規出店数は、8店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成27年11月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,708,870	4,784,054
売掛金	54,469	85,501
原材料及び貯蔵品	224,314	226,975
その他	310,848	370,523
流動資産合計	6,298,502	5,467,055
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,072,775	1,144,080
その他（純額）	408,867	446,254
有形固定資産合計	1,481,643	1,590,334
無形固定資産	145,501	129,382
投資その他の資産		
その他	1,417,576	1,436,026
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,416,497	1,434,948
固定資産合計	3,043,642	3,154,665
資産合計	9,342,144	8,621,721
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,004,283	1,021,810
短期借入金	150,000	270,000
未払金	1,095,628	848,967
未払法人税等	267,362	193,593
賞与引当金	109,300	180,162
株主優待引当金	32,725	33,158
その他	161,797	110,603
流動負債合計	2,821,098	2,658,296
固定負債		
資産除去債務	192,558	199,160
その他	414,413	400,462
固定負債合計	606,972	599,623
負債合計	3,428,070	3,257,919

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成27年11月15日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	5,361,991	5,557,316
自己株式	△787	△746,413
株主資本合計	5,913,983	5,363,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90	118
評価・換算差額等合計	90	118
純資産合計	5,914,074	5,363,802
負債純資産合計	9,342,144	8,621,721

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成27年11月15日)
売上高	9,079,543	9,648,975
売上原価	3,757,952	4,031,802
売上総利益	5,321,590	5,617,173
販売費及び一般管理費	4,878,848	5,193,323
営業利益	442,742	423,849
営業外収益		
受取利息	2,335	2,261
協賛金収入	15,429	17,705
その他	6,789	8,967
営業外収益合計	24,554	28,935
営業外費用		
支払利息	1,968	1,524
現金過不足	589	1,147
その他	45	553
営業外費用合計	2,603	3,225
経常利益	464,693	449,559
特別利益		
固定資産売却益	—	1,412
特別利益合計	—	1,412
特別損失		
固定資産除却損	—	2,410
特別損失合計	—	2,410
税引前四半期純利益	464,693	448,561
法人税等	193,561	174,847
四半期純利益	271,132	273,714

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成27年11月15日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	464,693	448,561
減価償却費	125,271	135,265
のれん償却額	—	11,931
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	25,370	24,618
賞与引当金の増減額(△は減少)	51,037	70,862
受取利息及び受取配当金	△2,345	△2,271
支払利息	1,968	1,524
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,412
固定資産除却損	—	2,410
売上債権の増減額(△は増加)	△27,909	△31,031
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71,183	△2,661
仕入債務の増減額(△は減少)	157,243	17,526
未払消費税等の増減額(△は減少)	26,554	△138,211
その他	△20,885	△219,313
小計	729,816	317,798
利息及び配当金の受取額	615	739
利息の支払額	△1,973	△1,550
法人税等の支払額	△288,903	△231,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	439,555	85,960
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△383,932	△384,008
定期預金の払戻による収入	383,855	383,932
有形固定資産の取得による支出	△97,453	△244,985
無形固定資産の取得による支出	△1,990	—
長期前払費用の取得による支出	△18	△12
敷金及び保証金の差入による支出	△5,149	△10,351
敷金及び保証金の回収による収入	2,158	1,154
建設協力金の支払による支出	—	△31,000
その他	25	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,502	△285,271
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△252,000	△330,000
リース債務の返済による支出	△26,375	△20,811
自己株式の取得による支出	—	△745,626
配当金の支払額	△78,625	△79,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,001	△725,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	280,051	△924,891
現金及び現金同等物の期首残高	4,589,823	5,301,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,869,875	4,376,774

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式175,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が745,626千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が746,413千円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。